

出題形式練習 解答・解説

解答は下のQRコードからも見ることが出来ます。

P33

1 1、エ 2、イ 3、唱(える)

1、「ひとときわ」は、他と比べて目立つ様子。

副詞は、主に用言を修飾する。ゆっくり・もっと など。

2、前文は現在の金星について、後文は過去のことを述べてあるので、「かつて」という言葉を入れる。

2 1、ア 2、イ 3、ウ

1、発揮 ア、指揮 イ、画期的

2、サ行変格活用の動詞は、「する」「―する」のみ。

3、「同様」は、同じである様子。

学生、社会人にとってもアスリートと同じように「心技体」が大切だということ。

P34

3 1、ウ 2、イ 3、ア

4、(例)自分の感情と言葉の表現がぴったりと一致しない

(二十二字)

5、イ

1、「伝えナイ」のように、ナイを付けてナイの前がエ段の音なので下一段活用の動詞である。

2、「表現」と「学習」は似た意味どうしの二字熟語、

「寒暖」は反対の意味どうし、「未熟」は上が下を打ち消す、

「着席」は動詞の下に目的語がくる二字熟語。

3、表現しきれぬと置き換えられるので、「ない」は否定の助動詞。

アの「ない」も「ぬ」に置き換えられるので否定の助動詞。

4、直前の文をまとめる。筆者は自分の感情を表すための言葉に少しのずれを感じている。

P35

4 1、118 種類の元素 2、イ 3、ア 4、エ

5、ウ

2、「科」、イ「秒」の部首はのぎへん、ア「枝」きへん、

ウ「祝」しめすへん、エ「持」てへん。

3、「たゆまぬ」は、油断しない・心がゆるまないこと。

4、「大きな」は連体詞。「大きい」は形容詞。

5、十行目以降に書かれている。

5

- 1、ウ 2、イ 3、ウ

4、地球が数百年前の気候に戻ることは期待できない
(二十二字)

1、「心地よく」「速い」は形容詞(終止形が「い」で終わる)、

「いろんな」は連体詞、「さわやかだ」は形容動詞(終止形が「だ」で終わる)、「来る」は動詞(終止形がウ段の音で終わる)。

3、「追随ついでを許さない」は、群を抜いて優れていること。

4、最後の段落にまとめられている。

6

- 1、ウ 2、不及バ 汪倫送ル我情ヲ
- 3、あ千尺 い情

1、一行が五文字で四行の詩は五言絶句

一行が七文字で四行の詩は七言絶句

一行が五文字で八行の詩は五言律詩

一行が七文字で八行の詩は七言律詩

※汪倫は、桃花潭という村の名士であり、酒造家である。旅で桃花潭を訪れた李白をしぼしぼもてなした。李白がこの村を旅立とうとするときに足を踏み鳴らし踊りながら歌う声が聞こえてきた。水の深さと対比して、汪倫の友情の深さを表している。

7

- 1、①いうよう ②うかがい 2、イ 3、イ

1、「ふ」を「う」に、「やう」を「よう」に、「ひ」を「い」に直す。

3、「馬耳東風ばじとうふう」いいかげんに聞き流すこと。

「本末転倒ほんまつてんとう」

大切なこととつまらないこととを取り違えること。

「首尾一貫しゅびいつかん」

物事の最初から最後まで、方針や考え方が変わらずに

通っていること。

(訳) 高橋作左衛門は、天文学に優れていたので登用されていた。庭に大きな柿の木があった。毎年秋にその柿を売って少しのお金を得ていた。ところが、その辺の若者が、夜盗みに来ることが何度もあった。柿の実の守りのために安心して眠れないので、作左衛門は夜眠らずに見回っていた。ある時帰宅して見ると、あれほどの大木が根元から切り倒してあった。作左衛門が「これはいったいどうしたことか」と驚くと妻が「私が切らせたので」と言った。「どうしてそのようにしたのか」と問いただすと「あなた様は天文学で家をおこしなさるはずです。それなのに、夜ごとに屋根のぼり、天空を見上げ深夜に至り、柿の木を見張ることに神経をすり減らしておられます。もしこの木がなければ本業に専念できると思い、このようにしました」と言ったということである。